

教育委員会会議録（4月定例会）

<u>日 時</u>	平成28年4月27日（水） 午後3時00分から午後3時45分まで	
<u>場 所</u>	教育プラザ ギャラリーB室	
<u>出席委員</u>	委員長 委 員 委 員 教育長	森嶋 鎮一郎 花田 和郎 伊藤 吾子 中山 俊恵
<u>欠席委員</u>	委員長職務代行者	上村 由美
<u>委員以外の出席者</u>	教育部長 総務課長 学校施設課長 学校施設課課長（新調理場建設担当） 学務課長 学務課課長 生涯学習課長 スポーツ振興課長 新体育館建設課長 指導課長 指導課課長 郷土博物館課長 記念図書館長（兼）視聴覚センター所長 教育研究所長 宮田調理場長 総務課副参事（兼）庶務係長 総務課課長補佐（兼）計画財務係長 総務課係長（企画員） 総務課主幹 総務課主事	鈴木 透 清水 透 関根 博之 佐藤 行男 内山 信弘 木下 俊雄 飯塚 優 志藤 忠博 千葉 忠好 川崎 恭子 佐川 章子 助川 正則 鈴木 士郎 勝間田 忠彦 荒川 敏明 中村 大介 酒地 康彦 下村 彰彦 吉野 成実 宇佐美 亮

議 事

1 報 告

報告第 4 号 教育委員会 3 月定例会の会議録について

2 議 案

議案第 1 3 号 専決処分について（日立市いじめ調査委員会委員の委嘱及び
任命について）

議案第 1 4 号 日立市郷土博物館協議会委員の任命について

議案第 1 5 号 日立市文化財保護審議会委員の委嘱について

3 その他

(1) 平成 2 8 年度日立市奨学生の選定結果について

(2) 平成 2 8 年度指導主事等について

(3) 「家庭学習の手引き」について

(4) 「どの子もわかる楽しい授業づくりハンドブック ー算数・数学編ー」について

(5) その他

(6) 次回の教育委員会の日程について

会 議 の 概 要

1 開 会

午後3時00分

委 員 長

それでは、只今から4月の教育委員会定例会を開催します。
本日は、所用により上村委員が欠席となります。
また、傍聴希望者が3名おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員

結構です。

(傍聴人入室)

2 報 告

報 告 第 4 号

教育委員会3月定例会の会議録について

委 員 長

それでは、まず、報告第4号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

3 議 案

議 案 第 1 3 号

専決処分について(日立市いじめ調査委員会委員の委嘱及び任命
について)

委 員 長

それでは次に議事に移ります。
議案第13号について、指導課長から説明をお願いします。

指 導 課 長

日立市いじめ調査委員会委員の委嘱及び任命について、特に緊急を要するため教育委員会を開催する時間的余裕がないことが明らかであったので、教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定に基づき専決処分したことについて、同条第2項の規定に基づきこれを報告し、承認を求めるものです。

平成28年4月1日に専決処分し、人事異動等の理由により、4名の委員を委嘱・任命しました。

任期は、残任期間である平成28年10月31日までです。

(本件については原案どおり可決されました。)

議案第14号 日立市郷土博物館協議会委員の任命について

委員長 次に、議案第14号について博物館課長から説明をお願いします。

博物館課長 日立市郷土博物館協議会委員は、平成28年4月30日をもって任期満了となるので、新たに委員を任命するものです。

任期は、平成28年5月1日から平成30年4月30日までの2年間となります。

任命する14名のうち、3名が新委員となります。

委員交代の主な理由は、委員の所属する機関における人事異動等に伴うものです。

(本件については原案どおり可決されました。)

議案第15号 日立市文化財保護審議会委員の委嘱について

委員長 次に、議案第15号について、博物館課長から説明をお願いします。

博物館課長 日立市文化財保護審議会委員は、平成28年4月30日をもって任期満了となるので、新たに委員を委嘱するものであります。

任期は、平成28年5月1日から平成30年4月30日までの2年間となります。

委嘱する6名のうち、2名が新委員となります。

委員交代の理由は、前任委員が高齢のため退任を申し出たこと及び前任者が任期途中で逝去されたことに伴うものです。

(本件については原案どおり可決されました。)

4 その他

(1) 平成28年度日立市奨学生の選定結果について

委員長 続きまして、その他に移らせていただきます。
その他（１）について、総務課長から説明をお願いします。

総務課長 平成２８年度日立市奨学生の選定結果について、説明します。
平成２８年度の奨学生については、平成２８年１月上旬から広報を開始し、２月の１か月間を受付期間とし、例年同様、高校６人、大学等３０人について募集を行いました。
その結果、高校１人、大学等２３人の応募があり、３月１５日に面接を実施し、翌１６日に選考委員会を開催しまして、応募があった２４人全員を奨学生として選定しました。
しかしその後、大学等の１人から、日本学生支援機構の奨学金を利用するため辞退をするといった申し出があったことから、最終的な平成２８年度の奨学生は、高校１人、大学等２２人の合計２３人となりました。
平成２７年度の奨学生は、高校１人、大学等１６人の合計１７人でしたので、本年度は６人の増となりました。

委員 大学等が２２人というのは少ないように感じます。
国の奨学金の利用状況などは、どのようになっているのでしょうか。

総務課長 日本学生支援機構が平成２６年度に調査を行っています。
昼間、大学に通っている大学生を対象とした抽出調査で、奨学金を利用している者の割合は、全体で５１．３％という結果が出ています。
また、奨学金は必要ないと回答した学生は４１．７％でした。
さらに、奨学金の貸付けの申込みをしたが、不採用になってしまったという学生は１．２％という結果も出ています。
なお、その１．２％の学生のうち、年収が日立市や国のおおむねの収入基準である９００万円を超えている世帯の学生は３９．２％であるという結果も出ていますことから、不採用となった学生のうち約４割の学生が、収入基準を超えているために不採用となったのではないかと考えられます。
また、奨学金を借りている学生の９割が、日本学生支援機構の奨学金を利用しています。
これらの調査結果から、学生の半数以上が奨学金を利用していますが、申込みをすることによってほぼ奨学金を利用することが可能であるという実態が明らかになったと考えています。

委員 国の「子供の貧困対策に関する大綱」の中で、奨学金制度の充実が掲げられていることから、現在の奨学金の貸付額が、大学に通

うに当たって的確な額であるのかを十分に検討する必要があると思います。

また、借りた奨学金を返還できない方も多いと聞きますし、無理をして奨学金を借りるのであれば、大学に進学しなくてもいいと考える方もいるかもしれません。

大学に行って勉強をして、日立市に戻ってきてくれることを期待する意味でも、借り手がいるような奨学金制度の充実について、検討していただければと思います。

委 員 日本学生支援機構と日立市の奨学金では、貸付額に差があるのですか。

総務課長 私立大学に自宅外から進学した場合の奨学金の月額、日立市では54,000円、日本学生支援機構では64,000円、茨城県では40,000円となっています。

多少、日本学生支援機構が高額であるため、それが利用者が多い理由の一つと言えるかもしれません。

(2) 平成28年度指導主事等について

委員長 それでは次に、その他(2)について、学務課長から説明をお願いします。

学務課長 平成28年度指導主事等について、説明します。

今年度は、指導課において2名の指導主事が新任となっています。

教育研究所においては、所長及び指導主事1名が、それぞれ新任となっています。

また、指導員は6名が新任となり、特別指導員である子ども読書活動推進アドバイザーも新任となっています。

委員 指導員については、所属する学校における業務がある中、他校に訪問して指導を行いますが、時間的な配慮等は行っているのですか。

指導課長 指導員は、指導課に所属する指導主事の知見が不足している教科を担っています。

指導員が所属する学校に対して、年3回の各学校への計画訪問や、教育論文の審査等による出張について、配慮するようお願いをしています。

委員 指導員となっても、各学校から訪問の要請がないという話を聞いたことがあります。

指導員を任命しても活用されないという意味がありませんので、有効な活用をお願いしたいと思います。

指導課長 教科によっては、担任が学校に1名しかいないという場合もあります。教科ごとに複数の学校の教員でグループをつくるなどし、その上で指導員を要請する等、指導員の有効な活用について検討していきたいと思います。

(3) 「家庭学習の手引き」について

委員長 それでは次に、その他(3)について、指導課長から説明をお願いします。

指導課長 「家庭学習の手引き」について、説明します。

家庭学習の手引きは、平成23年度に作成してから5年が経過したことから、平成28年4月に改定版を作成しました。

この手引きは、家庭学習習慣を身に着けるためには家庭の協力が必要であることから作成しているものです。

改定に当たっては、保護者が活用しやすいように、家庭の目線を意識し、子どもの発達段階に応じた家庭での学習の進め方や、「先輩パパ・ママからの一言アドバイス」を掲載するなど、視覚的に分かりやすくするとともに、内容を充実させています。

手引きは、市内各学校の児童生徒全員に配布するとともに、来年度以降は新1年生に配布します。

委員 大変良くできている手引きだと思いますが、問題は、この手引きが保護者の手元にしっかり届いているかということです。

中学生は、自宅に持ち帰ったものを親に渡すということが十分にされていないという話を聞きます。

指導課長 各学校には、保護者との懇談会等の機会を利用して配布するなどのお願いをしていますが、引き続き、保護者に対して啓発していきたいと思います。

(4) 「どの子もわかる楽しい授業づくりハンドブック ー算数・数学編ー」について

委員長 それでは次に、その他(4)について、教育研究所長から説明を

お願いします。

教育研究所長 「どの子どもわかる楽しい授業づくりハンドブック ー算数・数学編ー」について、説明します。

このハンドブックは、増加傾向にある若手教員の育成のため、授業づくりにおけるベテラン教員のノウハウを伝達し、教室にいるすべての子どもたちにとって、楽しくて分かりやすい授業が行われることを目的として作成したものです。

算数・数学などの授業に苦手意識を持つ子どもたちに対して、つまずきや困難を軽減するための指導の工夫や支援のためのアイデアを収集し、編集しました。

ハンドブックの前半は、授業に対して苦手意識のある子どもを始めとした様々な教育的ニーズに応じた指導や支援の方法についてまとめたもので、後半は、実際の授業の中でできる指導や支援のアイデアについてまとめたものとなっています。

写真やイラストを多く取り入れ、楽しく、分かりやすい授業が展開できるよう工夫されています。

ハンドブックの内容を授業に生かすことで、楽しさや分かったという成就感を子どもたちに感じてもらえることを願っています。

ハンドブックは、各教員がいつでも活用できるよう、市内小・中・特別支援学校全教員に配布しました。

日々の授業づくりや、校内研修のテキストとしての活用を始め、指導主事の訪問指導や、教育研究所が企画する研修会などでも活用することにより、ハンドブックの内容を、より教員に浸透させていきたいと考えています。

委 員 今後、他の教科のハンドブックを作成する予定はありますか。

教育研究所長 平成28年度は、国語編を作成する予定です。

委 員 キャリア教育に関するハンドブックを作成するのも良いと思います。

教育研究所長 キャリア教育は、本市教育委員会の合言葉である「いいとこ発見夢づくり」との結びつきが非常に強い分野でありますので、今後、検討していきたいと思えます。

(5) その他

委 員 長 それでは、その他で、ほかにある方はいますか。

スポーツ振興課長

4月のスポーツイベントの開催結果について、報告します。

まず、第5回日立さくら杯社会人野球大会の結果についてです。

4月2日(土)に、市民運動公園野球場において、JX-ENEOSと日立製作所による試合を開催しました。

結果は、4対1で日立製作所が勝利しています。

また、この試合に先立ちまして、日立さくら杯ジュニア野球大会が行われ、日立第一高等学校附属中学校が1対0で日高中学校に勝利しました。

続いて、第39回JABA日立市長杯選抜野球大会の結果についてです。

4月15日(金)から19日(火)までの5日間開催しました。

優勝は、8大会ぶり4度目となる日立製作所でした。

優勝した日立製作所は、10月29日に大阪の京セラドームで開催される社会人野球日本選手権に出場することとなります。

なお、本大会には、Honda熊本チームが参加し、4月15日に試合を行いましたが、16日に発生した熊本地震の影響により、大会2日目以降の試合を棄権しています。

最後に、第16回日立さくらロードレースの結果についてです。

4月10日(日)に開催し、参加申込者17,194人中のうち、15,366人が完走しました。

なお、25部門の優勝者中、日立市在住の方は7人で、そのうち2K中学男子の部では、泉丘中学校の赤津 勇進さんが優勝しました。

また、特別賞として、最高齢者であるひたちなか市在住の84歳の方にゴールド賞を、最北地である北海道紋別郡興部町の方と最南地である沖縄県宮古島市の方に、はるばる賞を授与しています。

さらに今回は、スポーツ国際交流推進事業として、海外から23人の方が参加しました。

宮田調理場長

地元特産品を使用した給食について、説明します。

4月21日付けの茨城新聞において、日立地域ブランドである久慈浜産のサクラダコを使った給食のサラダが掲載されました。

内容は、4月19日に久慈小学校6年生の給食の時間を取材したものです。当日は、成沢小学校以南を担当する南高野調理場の献立の一部としてサラダを提供していました。

サクラダコのサラダについては、4月18日から28日までの間に、全ての学校に提供します。

これまでも地元産の食材の学校給食への活用を検討してきましたが、今回は、取扱業者の協力もあり、使用するサクラダコが確保することができたため、提供することが出来ました。

提供の方法として、調理場では生の魚肉をさばくことは衛生管理上できないことから、すでに茹でてカットされた冷凍のサクラダコを解凍し、同じく茹でた野菜類とあえて、サラダにいたしました。

今回は、1人当たり約10g、数にして三、四個程度のサクラダコが入ったサラダを提供しました。

引き続き、地元産の食材の活用を進めることを目的として、現在は、茂宮カボチャのペーストを練り込んだソフト麺や中里産のリンゴの提供について関係者と協議しています。

なお、茂宮カボチャを練り込んだソフト麺は、先週、試作品ができたところであり、近いうちに学校給食の献立として提供できるものと考えております。

調理場としては、子どもたちに喜んで食べてもらえる給食が一番であり、食べることの経験を基に、食の知識を学んでもらうなど、給食が教育の一環となるとともに、引き続き安全で安心できる学校給食が提供できるよう、今後も努めていきたいと考えています。

総務課長 4月18日には櫛形小学校でサクラダコのサラダが提供され、その様子をケーブルテレビJWAYが取材しています。

4月27日午後7時30分以降の「デイリーひたち」において放映される予定です。

(6) 次回の教育委員会の日程について

委員長 それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いします。

総務課長 平成28年5月26日(木)に、日立市教育プラザギャラリーAで午後3時から開会予定です。

5 閉 会 午後3時45分

委員長 それでは、以上をもちまして、教育委員会4月定例会を終了します。